

物理チャレンジ 2012 第 1 チャレンジ実験奨励賞

2012年7月3日

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会

中学 1 年生以下の参加者で、特に優れた実験レポートを提出した下記のチャレンジャー 1 名を実験奨励賞として決定した。

1234025 森川遙光（京都市立岩倉南小学校 6 年）

小学 5 年生の夏休みの自由研究で自作したパソコンを使用し、またヘッドホンをばらして左右の部品を 2 つのマイクとして使用してパソコンにつないだ。それらを 60 cm の距離を置いて設置し、パルス音の到着時刻の差を測定した。ヘッドホンがマイクと同じ働きをすること、パソコンを自作したこと、周波数による音速の違いを測定したこと、また、ドライアイスを浴槽に入れて、その中に機器を入れて実験し、二酸化炭素中の音速も測定していることなど、小学生とは思えないレベルの高い実験を行っている。